

教育だより

News for Education
OITA

おおいた

URL <http://edu.oita-ed.jp/>No.70
2011
SUMMER

特集

夏休み親子で考える子どもの未来

シリーズ

教育委員Essay

『人は環境のふところで育つ』

学校、地域、家庭の三者で進める協育の取り組みを紹介

きょういく支援隊

「父親の子育て参画の促進を目指して」

夏休み特別企画

今年の夏は算数のニガテを克服!

学力向上ステップアップ事業

お知らせ

家族で行こう今年の夏休み



編集・発行

大分県教育庁教育改革・企画課

大分市府内町3丁目10番1号

TEL097-506-5421

E-mail oitaed@oita-ed.jp

平成23年7月15日

特集 夏休み親子で考える

大分県内の高校生の進路はどうなっているの？

表1のとおり、全国に比べて大分県の高校生の大学等への進学率は高くなく、むしろ就職率が高いことがわかります。

それでは、昨年度の県内公立高校の就職希望者の内定率はどうだったのでしょうか。

リーマン・ショック以来就職氷河期と言われる中、表2のとおり九州No.1を記録し、大分県の高校生の頑張りがかがえます。特に商業科の卒業生808人のうち就職希望者395人が内定率100%であり、全員が就職内定を勝ち取ったことは特筆に値します。もちろん商業科だけではなく、他の学科の生徒も100%近い内定率で健闘しています。なお、普通科高校でも約8%の生徒は就職しています。



大分県の高校生の選択 対全国比較 (表1)

	大学・短大等	専門学校	就職	浪人・留学・家事等
大分県男子	45.3%	13.4%	32.9%	8.4%
(全国男子)	52.3%	11.3%	21.1%	5.3%
大分県女子	51.1%	19.3%	22.2%	7.4%
(全国女子)	55.5%	18.1%	15.2%	11.2%

出典：文部科学省「学校基本調査」

- (表2)
- 大分県 96.9%
 - 宮崎県 96.6%
 - 佐賀県 96.0%
 - 熊本県 95.6%
 - 長崎県 95.4%
 - 鹿児島県 94.6%
 - 福岡県 93.1%
 - 沖縄県 82.6%

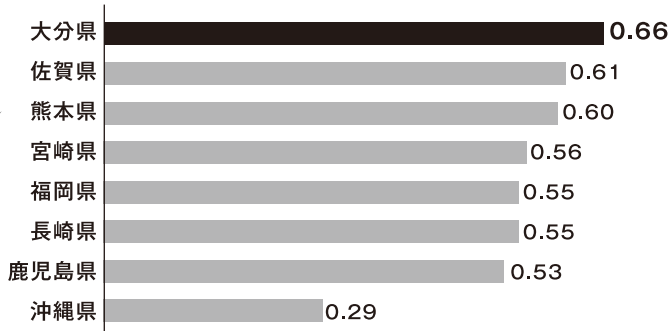
(文部科学省調査)

大分県の高校生、就職で大健闘 (内定率九州第1位)



「有効求人倍率」は求職者（仕事を探している人）1人あたりに何件の求人があるかを示すものです。この倍率が1.0より低いと、仕事を探している人の数よりも求人数の方が少ないということです。

九州・沖縄の有効求人倍率 (グラフ1)



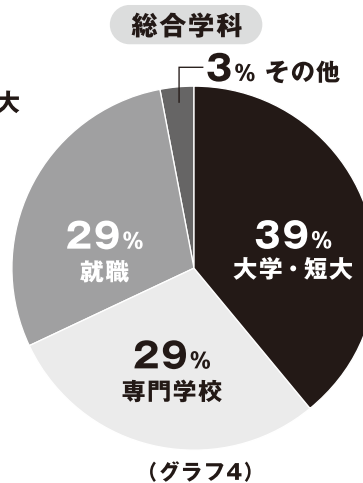
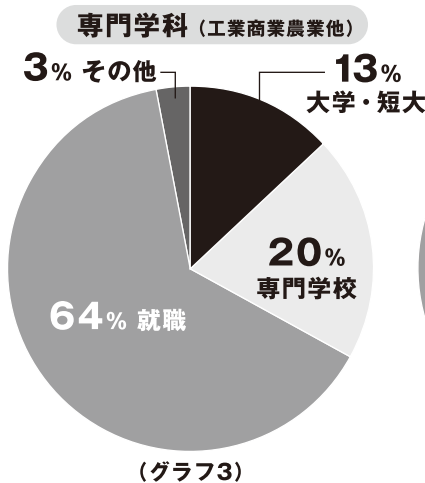
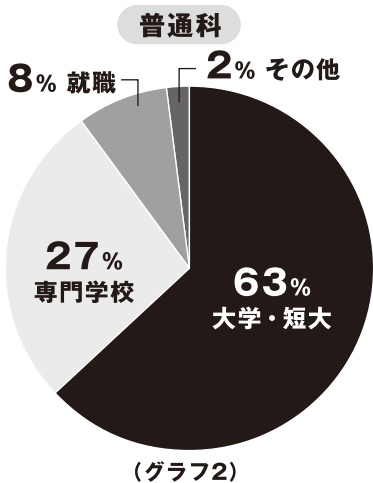
出典：大分労働局職業安定課

就職内定率九州1位の背景には、企業誘致活動等が功を奏し、グラフ1のとおり九州・沖縄8県で大分県は最も求人倍率が高いことなどがあると思われます。

また大分県の高校生の県内の企業等への就職率は78.8%にも及び、九州では福岡県に次いで第2位の高い率となっています。大分県は九州の他県に比べて、地元志向の強い県内の高校生に配慮する恵まれた環境にあると言えるでしょう。

大分県学科別の進路状況

次に、大分県の高校の学科別の進路を見ると、グラフ2～4のとおり、普通科からは約9割が大学・短大や専門学校へ進学する一方、専門学科は3分の2が就職となっています。総合学科は、大学短大、専門学校、就職がバランスの良い状況です。このように高校入学後でも多様な進路が考えられる状況となっています。



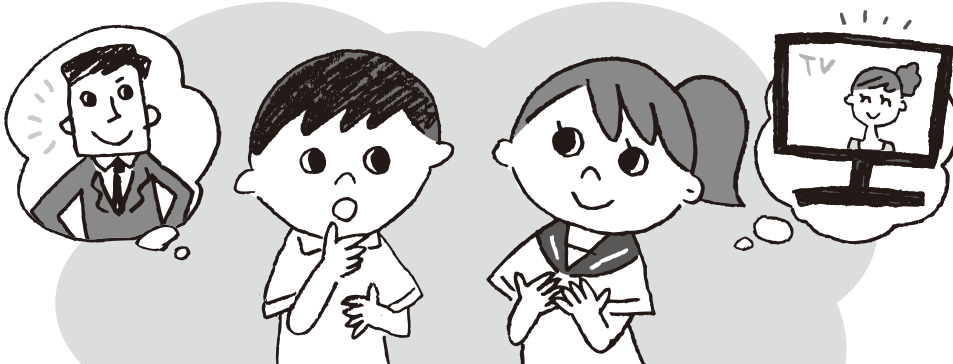
出典：文部科学省「学校基本調査」

夢や目標を持とう

ご覧いただいたように、昨年の高校3年生は頑張っていますよね。

保護者の皆さんは、自分のお子さんが将来どのような道へ進むのか、どんな人生を歩んでいくのかを心配されていると思います。

お子さんにとっては、保護者や親戚といった身近な存在が目標であったり、テレビで目にする有名人が目標であったりと、将来の夢や目標は様々でしょう。



子どもの未来

いよいよ待ちに待った夏休み。
家族で過ごす時間も多くなります。
そこで是非この夏休みを利用してご家族で
お子さんの将来について真剣に考えてみませんか？

仕事は半生を共にする選択。この機会に真剣に考えよう！

今や日本人の平均寿命は80歳を超えています。実は、学校で勉強するのは大学まで進学する場合でも合わせて10数年間です。一方、仕事はサラリーマンなどで約40年間、自営業などでは50年を超える長い期間にわたるものです。

40年間も自分がやりたいくないことを続ける姿は想像できないと思います。当たり前のことですが、気が進まないことは長続きしません。

だからこそ、自分の夢や目標を叶える仕事や、自分の好きな、自分にあった仕事をするのが大事です。仕事に満足感を感じることは、生き甲斐のある豊かな人生を歩む上での重要な第一歩となりますので、この機会に真剣に考えてみてはいかがでしょうか。



皆さんの中には、「勉強したくない」と思っている人がいるでしょうが、気が進まないことでも、やらなければならないことはあります。将来のより充実した、豊かな人生を過ごすためには欠かせないことです。皆さん今が頑張り時なのです。

夢や目標を持つのが早ければ早いほど、そしてその夢や目標を実現するにふさわしい努力を続ければ続けるほど、夢の実現の可能性は高まります。

プロスポーツの選手などは、子どもの頃から夢に向かって日々努力することで自分の夢を叶えた皆さんと言えます。また、弁護士や医師のように難しい国家試験を通らなければならない職業も、ある程度早い段階で、そういう道に進もうと志し、努力した方が多いと思われます。

どのような職業でもそうだと思いますが、自分の夢・目標とする職業を早く見つけること、そしてそれに向かって日々努力することで、必ずや扉が開けてくるに違いありません。

さあ、この夏休み、御家族で、お子さんの将来を考えましょう。お子さんの夢や目標を御家族で認め合い、その夢に向かって、お子さんだけでなく、御家族で力を合わせましょう。

夢に近づくために、進む道は1つだけとは限りません。高校からは多様な選択肢がありますので、この点も併せて考えましょう。

進学を希望する場合、一定の条件を満たせば奨学金制度も活用できますので、保護者の皆さんはそのようなことも考え合わせ、お子さんの夢の実現をサポートしてください。

夢を叶えるために最適の選択を！



大学

一言で言うと
学術的・理論的な学問を学ぶだけでなく研究まで行う教育機関です。

キャンパスライフの特徴は
自分の目的に合わせて時間割を作ることができ、必修科目により、一定の制限はされるものの、勉強の目的やライフスタイルに合わせてスケジュールを決めることができます。また、ゼミや研究、サークル活動など、協調性を必要とする活動も多く、社会人としての基礎も身につきます。

就職等
●学部や学科等により就職先は様々です。就職先の選択の幅が広いという利点があります。
●大学院への進学も可能で、理系の場合は大学院まで進むことが一般的です。

短大

2年または3年の短期の教育機関で職業、実際生活に必要な能力を育成します。

短期間のうちに、教養科目と並行して専門科目などを学ぶため大学と比べ学生生活が忙しくなりがちです。また、大学に比べて実習時間が多く、知識や技術を覚えていくため、卒業と同時に即戦力として働くことができる力が身につきます。

●専攻分野（教育と医療等）と一般職に分かれており、ある程度幅があります。
●大学への編入学も可能です。

専門学校

職業教育を行う教育機関です。資格を取得したり、実践的な内容を学んだりできます。

卒業と同時に即戦力として働ける能力を身に付けるため、学科だけでなく技能を覚えることが重視されます。このため実技を習得する実習が毎日に行われ、専門技能が身につきます。

●専門技能を身につけ専攻分野と関連の深い職業に就くことができます。
●大学への編入学も可能です。

就職

前述のように大分県の高校生の就職内定率は九州No.1であり、県内就職率も福岡県に次ぐ九州2位であり、就職には非常に恵まれた環境にあります。



教育委員Essay
シリーズ

第5回

『人は環境の
ふところころで育つ』

東九州短期大学

特任教授

松田 順子

このコーナーでは、6人の大分県教育委員のエッセイを掲載します。教育委員は、県議会の同意を得て知事が任命します。教育委員6人の会議で、県の教育行政の重要事項や基本方針等を決定します。

環境豊かな大分県

“みどりがいっぱい おおいたけん ぼくらのメジロン 誕生だ…”大分国体が終わりと、早3年、めじろん君は、まだまだ現役です。他県から見えられた方々から「おもてなしが行き届いた、あたたかい県ですね」というお誉めの言葉をいただきました。

大分国体は、“あたりまえだけど、今、大切なこと”を訪れた皆さんにプレゼントできたのではないのでしょうか。

私は、他県や他国に行った時、本当に大分県のあたたかさをひしひしと感じます。また、何よりも、山と海、おいしい食べ物、そして、温泉という贅沢な環境、あたたかい人々、こんなすばらしい大分県に住んでいることに感謝せずにおれません。

教育問題でいろいろなことはありましたが、この環境が、次の世代の子ども達をあたたかく育ててくれることはまちがいありません。

誉められることで、生きる意欲がわく

子どもが生まれて、初めて親の力が大切なことに気づくことでしょう。自分も幼い子どもの頃があったこと、又、親があって今日があることなど、思い出してみてください。幼児期は、“歩けた”“言葉がいえた”“ぶらんこにのれた”“自分のなまえが書けた”など、ほんのささいなことでも「すごいね」「えらいね」「よくがんばったね」と誉められながら大きくなります。しかし、小学校へ入ったとたん「どうして、あんたはこんなことができるの」「親の言うことを聞きなさい」「あの人をみなさい、あんたという子は…」などと本人の頑張りより、むしろ他との比較の中でばかり育てられるようになっていきます。

いつの時代も、子どもは（いや、大人でも）、親や先生から認められ、誉められたいものです。

あたりまえがたいせつ

親力とは、そんなに難しいことはありません。あたりまえのことをあたりまえにしていくことです。

○家族みんなにあいさつを心をこめてする。

○子どもの目を見て話す。



松田委員 略歴
昭和50年 扇城学園 中津女子短期大学 講師
昭和55年 扇城学園 中津女子短期大学 助教授
昭和56年 大分大学教育福祉科学部 講師
昭和60年 別府女子短期大学 助教授
平成 元年 別府女子短期大学 教授
平成10年 東九州女子短期大学 教授
幼児教育学科学科長
平成14年 東九州短期大学 教授 教学部長
平成21年 東九州短期大学 特任教授
大分県教育委員会 委員
現在に至る

- 子どもの意見や考え方を尊重する。
- 上から目線で怒ったりしない。
- 口をふさいで咳やくしゃみをする。
- 他人からもらった品物に文句を言わない。
- 子どもの成績を食事中に言わない。
- 子どもの宿題には、一緒につきあう。
- 家の中は、整理、整頓をする。
- 学校の先生の悪口を言わない。
- お世話になった人には、必ずお礼を言う。
- お客さまは、歓迎して迎える。
- 近所の人と仲良くつきあう。
- 後から人が来たらドアを押さえてまっしておく。
- P.T.Aの集会、学校参観日など人が多く集まった所では、お喋りをしない。(携帯電話はもちろん)
- 子どもの様子は、毎日良く観察する。
- 子どもの前では、いつも正直でいる。

親は前向きで、いつも生き生きしている姿を子どもに見せてあげられると良いですね。

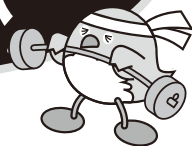
子どもは、親の悲しむ姿や自分に無関心なこと、怒鳴る声に出会いたくありません。

何ととっても、少子化の時代、生まれてきた子どもは、地域の宝です。子ども達が虐待を受けず、安心して、また喜びを実感しながら夢をもって、生きていける環境をつくることは大人の責任です。

まずは親から、保護者から、そして、学校、地域の皆さんから日本一、子どもが幸福を感じる大分県にしませんか。

学校、地域、家庭の三者で進める協育の取組みを紹介 ⑤

きょういく 支え隊



大分県教育委員会では、「協育」の大切さを認識し、「協育」に取り組む方々を応援しています。

今年度は、おやじの会の取組をシリーズで紹介しします。

日田市立高瀬小学校おやじの会 「父ちゃんかせちくれん会」

会長 藤本友則

父親が育友会（PTA）活動に積極的に参加してくれるようにと、平成17年11月の県P指定研究発表会を契機に結成しました。それまでも、学校林の下草刈りは多くの父親の参加で実施していましたが、県P指定研究発表会で運気が盛り上がり、結

成の運びとなりました。会の名称は、子育てにお父さんも協力してくださいという意味を含めて「父ちゃんかせちくれん会」とし、会員数36名でスタートしました。会の最初の仕事は、研究発表会の運営補助でしたが、てきぱきとしたおやじたちの働きぶりは、育友会員一同からとても大きな力になってくれたと喜ばれました。

翌年のおやじの会の会合では、親子のふれあいのためのスポーツ、ハイキング、キャンプ、魚釣りをしたい等、様々な意見が出ました。

「たまには、酒でも一杯やりながら、子育てについて語り合おう」という意見も出ました。

早速、その年の7月におやじの会のメンバーとその子どもたちで、長年していなかった学校の池の掃除とトイレ清掃をしました。池の底に溜まった多量の泥やごみは、軽トラック2台分もありました。おやじたちのたくましい作業振りを見ながら、子どもたちは「すごい」と感心していました。トイレ清掃では、途中で投げ出すのではないかと父親の心配をよそに、子どもたちも汗をかきながら一生懸命便器を磨いてくれました。親子でトイレ清掃する光景は、見ていても、すがすがしくて気持ちの良いものでした。



ふるさとまつりの様子

毎年開催される高瀬地区の「ふるさとまつり」でも、おやじの出番がやってきます。綿菓子作りやポップコーンづくり、うどん作り、子どもたちのためのゲーム「ストラックアウト」や「輪投げ」のお世話とおやじたちは大忙しです。でも子どもたちは大喜びで、一緒に綿菓子やポップコーンを作ります。

今後の課題は会員数を増やすことです。まだ実現できていない父子でのふれあいスポーツ大会やキャンプ、魚釣り等のイベントも実施したいと考えています。これらに向けておやじの会「父ちゃんかせちくれん会」は、ますます奮闘したいと考えています。

今年の夏は算数のニガテを克服!

夏休みの5日間、県内全ての小学校で算数の補充学習を行います



中学校の先生による指導



退職校長先生による指導

**学力向上
ステップアップ
事業**

子どもたちのつまづきを早期に解消し、基礎的・基本的な内容の定着を図るため、算数を中心とした補充学習を県内全ての小学校で実施します。指導は、小学校の教員と民間の学習サポーターが協力して行います。昨年の参加児童のアンケートでは、「算数が好き」と答えた割合が約13ポイント上昇するなど、非常に効果が高い取組です。是非ともお子さんの参加をお待ちしております。

「教員の指導 + 学習サポーターの支援」による **習熟の程度に応じた個別指導**



前学年の内容の復習



基礎的・基本的な内容の定着



発展的・応用的な内容への挑戦

昨年度参加した児童と、その保護者へのアンケート結果より

5日間参加した児童の割合
71%



算数が好きな児童
4月 67.4% ▶ 12月 80.2%

保護者の満足度
92.4%



大学生による指導



全教職員による指導

対象者

県内の市町村立小学校4・5年生と、市町村が定める他の1学年の、合計3学年の児童。(児童の参加は任意です)

内 容: 算数を中心に習熟の程度に応じた個別指導を実施。

指 導 者: 全教職員で対応。(1学級に1人の学習サポーターを配置。)

教 材: 県教育委員会は「算数問題データベース」を配信し、各小学校の教材準備を支援しています。各小学校は、「算数問題データベース」をはじめ、教師自作のプリント等を活用し、児童個々の課題に応じた教材を準備します。

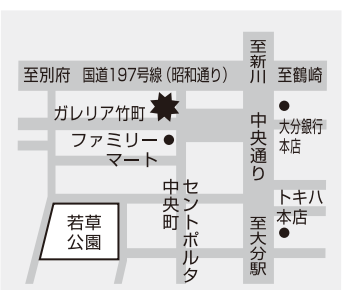
実施時期: 各小学校が定めます。直接小学校へ問い合わせください。

家族で行く今年の夏休み

少年少女科学体験スペース

好評に覚え
O-Labo オーラボ

利用者の好評に覚え、内装や体験内容を充実して、6月25日(土)にリニューアルオープンしました。
先端技術や身近な科学に触れてみたい人、夏休みの自由研究のヒントを探している人は、「O-Labo(オーラボ)」へ!



身近な自然現象の謎を解き明かそう。
リニューアルオープン!!
先端技術に触れてみたい。
夏休みの自由研究のヒントにしよう。
利用料 無料

- 設置期間/平成23年 6月25日(土)～平成24年 3月4日(日)
夏休み開館日…火曜日と8/6、8/12～15を除く全日
- 開館時間/10:00～16:00
- 設置場所/大分市中央町岩尾洋装店ビル1F
- 対象者/主に小学校4～6年生を対象としますが、小学校低学年や中学生も利用可能です。(小学校低学年は保護者同伴をお願いします)
- その他/「O-Labo(オーラボ)」の情報は、HPでも公開しています。体験内容によっては事前申込み(予約)が必要な場合があります。事前申込みは、上記HPから行うことができます。
- 問い合わせ先/大分県商工労働部工業振興課 TEL 097-506-3267

集まれ! アドベンチャー・キッズ

香々地の雄大な自然の中で、4泊5日のキャンプ(バンガロー泊)を実施します。子どもたちの豊かな心とたくましい体をはぐくむとともに、自然を愛する心やお互いを思いやる心を育てます。
海に沈む夕日や満点の星空も、あなたの参加をお待ちしています。



- 日時/8月20日(土)～24日(水)
- 対象者/小学校5年生～中学校3年生(定員42名)
- 参加費/8,000円(予定)
- 締め切り/平成23年7月22日(金) ※応募者多数の場合は抽選
- 問い合わせ先/県立社会教育総合センター香々地青少年の家
〒872-1202 豊後高田市香々地5151 TEL 0978-54-2096

■活動内容/海水浴、いかだ体験、サイクリング、姫島の七不思議探検、野外炊飯、デジタルプラネタリウム鑑賞、星座観察 等

子どもと楽しむアートな時間



ねんどであそぼう!
① 美術鑑賞: どんなかたちかな?
② 造形ワークショップ
粘土ワークショップ
彫刻作品を鑑賞した後、粘土で自由に形を作ります。



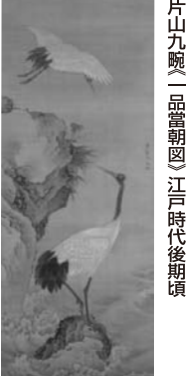
- 日時/8月19日(金) 9:30～12:00
- 講師/田村務氏(梅光学院大学子ども学部教授)・当館学芸員
- 対象者/6歳以下の子どもとその保護者20組
- 締め切り/平成23年8月5日(金) 必着
- 問い合わせ先/大分県立芸術会館 〒870-0152 大分市牧緑町1-61 TEL 097-552-0077

平常展Ⅱ 特集展示
「おおいたの藩絵師/ゆかりの浮世絵師」

あまり知られていない、江戸から明治にかけての画人たちです。
■日時/7月20日(水)～8月7日(日)
■観覧料/一般200円 高大生100円
小中生無料



歌川豊春《観梅図》寛政期頃



片山九暎《品當朝図》江戸時代後期頃

平常展Ⅲ 特集展示
「高山辰雄 道を求めて」

テーマは「道」。
高山辰雄がめざした「道」とは…。
日本画家・高山辰雄の高い精神性を秘めた画世界を、「道」をテーマにして紹介します。
■日時/8月9日(火)～8月28日(日)
■観覧料/一般200円 高大生100円
小中生無料



高山辰雄《由布の里道》1998年

「楽しく学ぼう!」県立図書館の夏休みイベント

県立図書館ではさまざまな公開講座を開催します。皆様のご参加をお待ちしています。

このほかにも子育てに関する講演会、昭和の名作の朗読会、絵本作家の講演会、さらに辻野先生の「大分学」講座なども実施します。ご期待ください。

■対象者/①は小学生、1・2年生は保護者同伴
②は小学校3年生以上の児童とその保護者

■参加費/無料

■問い合わせ先/大分県立図書館 企画・資料課 TEL 097-546-9972(代表)

1

めざせ!としょかん名人

■日時/7月28日(木)11:00~12:00

■集合場所/子ども室カウンター
(当日申込み 11時までに集合)

としょかん探検隊

■日時/7月31日(日)13:00~13:50

■集合場所/中央カウンター
(当日申込み 13時までに集合)

2

親子でチャレンジ!

~図書館の本を使った調べ学習講座

●8月3日と17日の2回シリーズ

●7月20日より申込受付開始



企画展

「きらめくアクセサリー —よそおいの美—」



県立歴史博物館では、古代から連綿と続く身体を飾る文化について紹介します。勾玉・化粧道具・アクセサリ・再現された天平の衣装等々を展示します。ご期待ください。

■日 時/7月15日(金)~9月19日(月)

9:00~17:00(入館は16:30まで)

■休館日/月曜日(祝日・振替休日の場合は翌日)

■観覧料/一般300円 高校生・大学生150円 中学生以下無料

■問い合わせ先/大分県立歴史博物館 TEL 0978-37-2100

今年の夏は親子で 先哲史料館へ

「平和について考えてみよう!」

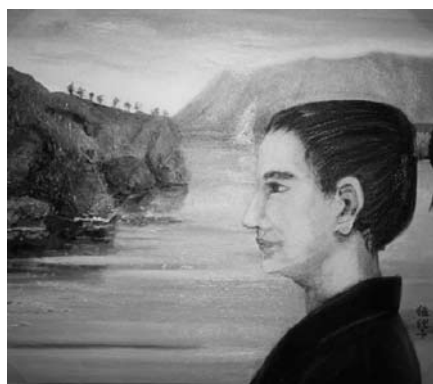
野上彌生子のアメリカ大統領への公開訴状「トルーマン大統領への公開状」や「戦争は悪」と唱えた堀悌吉の日記、迫害されたキリシタン心の平和のよりどころであったペトロ岐部カスイの生涯を描いた絵画などを子ども向けに展示し、あらためて「平和の大切さ」を親子で考えてもらうきっかけとなる展示会です。本物の史料やパネルを子どもにもわかる表現で展示しますので、夏休みの調べ学習の材料に最適です。

■日 時/7月16日(土)~8月28日(日) 9:00~17:00

■休館日/月曜休館(7月18日は、開館。7月19日は休館。)

■観覧料/無料

■問い合わせ先/大分県立先哲史料館 TEL 097-546-9380



ペトロ岐部カスイがローマから一人でキリシタンを救うため困難に遭いながらも日本に帰国した

企画展

~キミも考古学博士になるう~

発掘された豊の国 2011

展示会では、近年に発掘調査した貴重な遺物をはじめ、調査の記録写真を一堂に展示するとともに、直接遺物に触れることができる体験コーナーを設けています。

クイズに挑戦し、正解できた小学生には考古学博士特製シールをプレゼント!

■会 場/先哲史料館展示室(大分県立図書館1階)

■日 時/7月16日(土)~8月28日(日) 9:00~17:00

■休館日/月曜日(祝日の場合は、火曜日)

■観覧料/無料

■問い合わせ先/大分県教育庁埋蔵文化財センター 資料管理班

TEL 097-597-5675 〒870-1113 大分市中判田1977番地



弥生土器の壺(約2,000年前)
(玖珠町四日市遺跡出土)



弥生土器の壺(約2,000年前)
(玖珠町四日市遺跡出土)

「大分県教育庁チャンネル」に今すぐアクセス!

「大分県教育庁チャンネル」(You Tube)は県教育委員会が開設している動画サイトです。

学校現場の先生の横顔、子どもたちの活躍、地域の皆さんによる支援の様子など、特色ある取組や地道な取組など「大分県の教育の今」を3分程度の動画にまとめ、ご紹介しています。

また、優れた授業の紹介などの教員用コンテンツ、県教委の動きや県教委各課の業務紹介などのコンテンツもあり、現在、80本以上の動画を提供中です。近くの学校の身近なあの人が出ているかも。是非一度ご覧ください。

大分県教育庁チャンネル連絡先／大分県教育庁 教育改革・企画課 総務・広報班
〒870-8503 大分市府内町3-10-1
TEL 097-506-5421 / FAX 097-506-1791 / E-mail oitaed@pref.oita.lg.jp



- 「大分県教育庁チャンネル」では、学校の活動や取組に関する動画・写真を募集しています。あなたの学校の楽しかった活動や思い出深い取組を、教育庁チャンネルを通じて発信してみませんか?
- 撮影した動画のDVDや写真をお送りください。
- 専門スタッフが編集し、音楽とナレーションをつけて完成させます。応募後の作業は一切発生しません。

学校に関する動画・写真も募集中!

また、教育庁チャンネルで取り上げてほしい取組や活動があれば、お気軽にご連絡ください。専門スタッフが取材に伺い、編集まで全て行いますので、作業をしていただくことはありません。いずれの場合でもお気軽に電話・メール等でお問い合わせください。

「大分県教育庁チャンネル」は大分県教育委員会のホームページからアクセスできます。携帯電話やスマートフォンからもご覧いただけます。
(<http://kyouiku.oita-ed.jp/>)

視覚障がい教育相談会

大分県立盲学校では、視覚に障がいのあるお子さんやその保護者、学校等の関係者を対象に、巡回による教育相談会を実施しています。

1. 相談の内容 視覚に障がいのあるお子さんの家庭での接し方、保育、教育、医療に関すること など

2. 日時、会場

該当市町村	日時・時間	会場
中津市、宇佐市、豊後高田市	8月18日(木) 10:30~	中津市教育福祉センター
別府市、日出町、杵築市、国東市、姫島村	8月19日(金) 10:00~	別府市総合教育センター
臼杵市、津久見市	8月22日(月) 10:00~	臼杵市教育委員会
大分市、由布市	8月23日(火) 10:00~	大分県立盲学校
佐伯市	8月24日(水) 10:30~	佐伯教育市民ホール「まな美」
竹田市、豊後大野市	8月25日(木) 10:30~	竹田市教育委員会
日田市、玖珠町、九重町	8月26日(金) 10:30~	日田市教育委員会

3. 申込方法 現在、お住まいの市町村の教育委員会にお申し込み下さい。
※次回は12月に予定しています。

■問い合わせ先／大分県立盲学校 大分市金池町3丁目1-75
TEL 097-532-2638

聞こえとことばの教育相談会

大分県立聾学校では、聴覚に障がいのあるお子さんやその保護者、学校等の関係者を対象に、巡回による教育相談会を実施しています。

1. 相談の内容 聞こえやことばが気になるお子さんの学校や

2. 日時、会場

該当市町村	日時・時間	会場
中津市	8月16日(火) 9:30~	中津教育事務所
宇佐市、豊後高田市	8月29日(月) 9:30~	宇佐市教育委員会
別府市、日出町	8月17日(水) 9:30~	別府市総合教育センター
杵築市、国東市、姫島村	8月30日(火) 9:30~	杵築市役所山香庁舎
大分市、由布市	8月18日(木) 9:30~	大分県立聾学校
臼杵市、津久見市	8月19日(金) 9:30~	臼杵市教育委員会
佐伯市	8月22日(月) 9:30~	佐伯教育事務所
竹田市、豊後大野市	8月23日(火) 9:30~	竹田教育事務所
日田市	8月24日(水) 9:30~	日田教育事務所
玖珠町、九重町	8月31日(水) 9:30~	玖珠町教育委員会

3. 申込方法

相談を希望される方は、8月5日(金)までに聾学校へ電話もしくはFAXでお申し込み下さい。

■問い合わせ先／大分県立聾学校
大分市東大道2丁目5-12
TEL 097-543-2047
FAX 097-546-2111

おおいた教育の日 エッセーを募集しています!

●一般の部

テーマ「おおいたの子どもたちへ」

地域で生きる大人として、働く社会人として、親として、自らの経験から子どもたちへ「伝えたいこと」「残したいこと」「願うこと」等の想いを綴ったエッセー

- 高校生以上・一般の方…1作品400字詰め原稿用紙4枚以内
- 小学生・中学生…1作品400字詰め原稿用紙3枚以内 ※ワープロ原稿:A4版用紙に40字×40行

応募資格／県内在住の方、又は大分県出身の方(ただし大分県教育委員会関係職員を除く)
表彰・副賞／大分県教育の日推進会議会長賞(各部門1点、図書カード2万円)
優秀賞(「一般の部」2点、「小・中・高等学校・大学等の部」3点、図書カード5千円)
学校賞(「小・中・高等学校・大学等の部」2点、図書カード3万円)
応募期間／平成23年7月1日(金)~9月9日(金) ※郵送の場合は当日消印有効
応募先／大分県教育の日推進会議事務局(大分県教育庁社会教育課内)
〒870-8503 大分市府内町3丁目10番1号
TEL 097-506-5526 FAX 097-506-1798
Eメール oita-kyouikunohi@pref.oita.lg.jp

●小・中・高等学校・大学等の部

テーマ「わたしの心に残ること」

※特別支援学校、高等専門学校、専修学校、各種学校を含む。
学校や家庭、地域での暮らしの中で、強く心に残っている「人との出会い」「感動した体験」「忘れられない思い出」等を綴ったエッセー



詳しくは大分県教育庁社会教育課にお問い合わせいただくか、大分県教育委員会HPから「おおいた教育の日」をご覧ください。

~ここからスタート! 新たな旅立ち~ 高等学校卒業程度認定試験

(旧大学入学資格検定)

文部科学省では、様々な理由で高校等を卒業していないため大学等を受験できない人に対して、高校卒業者と同等以上の学力があるかどうかを認定する「高等学校卒業程度認定試験」を年間2回(8月・11月)実施しています。

■平成23年度試験日程

- 第1回試験日 8月 3日(水)・4日(木) (出願終了)
- 第2回試験日 11月19日(土)・20日(日)
(第2回受験案内配布開始 7月25日(月)から)
大分県試験会場 県立社会教育総合センター(別府市)

■県内受験案内配布場所

- 県教育庁社会教育課、県内各6教育事務所、
県立社会教育総合センター

平成23年度の大分県での受験に関する情報等を県教育委員会ホームページにも掲載していますのでご覧ください。

■問い合わせ先／大分県教育庁社会教育課生涯学習推進班
TEL 097-506-5526 FAX 097-506-1798

気軽に相談してください

大分県教育センターでは、教職員対象の研修・支援をはじめ、児童生徒、保護者に対しても相談や支援を行っています。

下記の相談項目を、グループで学ぶことができます。グループで学びませんか?

子どもの人間関係づくりで悩んでいませんか?

ご相談は 教育相談部
☎097-569-0829まで

いじめ、不登校、進路、適性、日常生活に関すること等で不安がありましたら教育相談部まで、お気軽にご相談ください。

子どもの学習面や行動面において不安を感じていませんか?

ご相談は 特別支援教育部
☎097-569-0232まで

見る、読む、書く、聞く、話す、推論することにつきまが見られる。また、落ち着きがない、片付けができない、順番を待つことができない等の不安がありましたら、特別支援教育部まで、ご相談ください。

子どもたちには、ネット社会を楽しく安全に歩いて欲しいですね。

ご相談は 情報教育部
☎097-569-0228まで

パソコンや携帯電話からのインターネットの接続。ネット社会には不安も一杯。お子さんのネット利用不安はありませんか?

図書館・カリキュラムセンター(本館3館)を開放しています。

教科書展示会場として、来年度の新教科書を展示しています。また、小・中・高等学校や特別支援学校、大学や全国の教育センターの教育資料等も所蔵しています。是非、お気軽にお立ち寄りください。

「学校の教育活動と保護者の子育てを支援します!」

子ども・保護者対象の講座については学校を通して教育センターまでご連絡ください。

■問い合わせ先／大分県教育センター
TEL 097-569-0118(代表)
FAX 097-567-2425
<http://kyouiku.oita-ed.jp/edu-c/>
e-mail: a31401@pref.oita.lg.jp